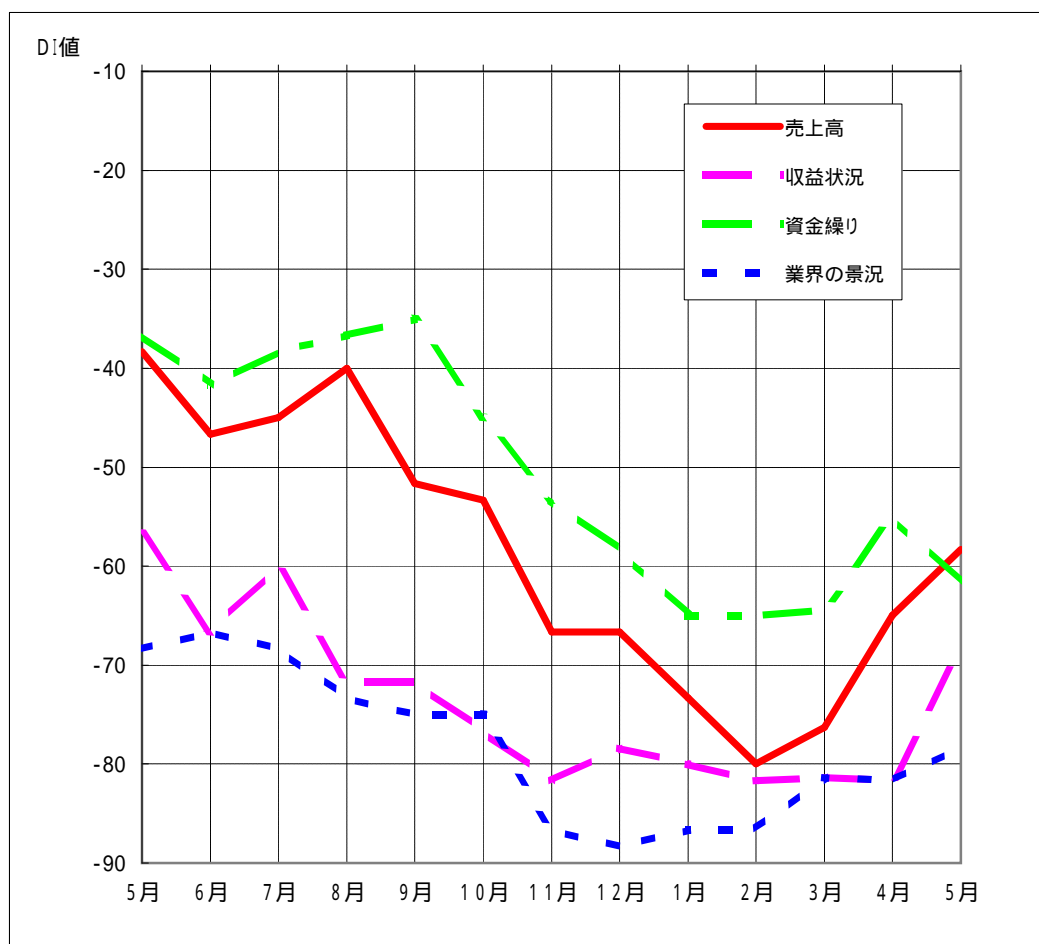


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年5月～平成21年5月

単位:ポイント



	H20					H21							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
売上高	-38.3	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7	-66.7	-73.3	-80.0	-76.3	-65.0	-58.3
収益状況	-56.7	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7	-78.3	-80.0	-81.7	-81.4	-81.7	-68.3
資金繰り	-36.7	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3	-58.3	-65.0	-65.0	-64.4	-55.0	-61.7
業界の景況	-68.3	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7	-88.3	-86.7	-86.7	-81.4	-81.7	-78.3

5月のDI値は前年同月と比べて全項目で悪化した。売上高DI値は-20ポイント、収益状況DI値は-11.6ポイント、資金繰りDI値は-25ポイント、業界の景況DI値は-10ポイントそれぞれ下落。売上高、収益状況、業界の景況DI値は本年3月期以降改善の傾向が見られる中、資金繰りDI値も一旦は上昇したが今月の調査では下落した。

組合の特記事項からは、全体的に厳しい声が多かった。世界的な不景気で業種を問わず仕事量が減少し、製造業では操業、雇用の維持に苦慮しているところが多い。非製造業でも需要の低迷から収益状況が悪化しているようだ。生コンクリート、ハウスイア業界の一部企業では売上が若干回復傾向にあるところも見られるが、総じて厳しい状況が今月も続いていることが窺える。